

基準緩和認定実例(実用化)

○全体概要

事業者	鹿島建設株式会社、日本交通株式会社、BOLDLY株式会社
運行期間	2020年9月18日～
運行の概要	国土交通省からスマートシティのモデルプロジェクトに選定された「HICity」において、自律走行バス「NAVYA ARMA(ナビヤ アルマ)」(仏Navya 社製)の定常運行を行うもの。なお、「NAVYA ARMA」は、手動による運転時は通常のハンドル・ブレーキと異なる特別な装置で操作する特別装置自動車で、特別装置自動車が自律走行バスとして定常運行するのは、国内で初めて。

○運行の概要

走行場所	羽田イノベーションシティ(HICity)	
走行環境条件	走行空間	混在空間(施設内、他車両・歩行者有り)
	交通環境	右折あり/左折あり・信号なし
	走行時間帯	10:30-16:30
	天候	荒天時を除く
	最高速度	12km(構内制限速度に基づく)
インフラとの連携の内容	特になし	
車両内外の保安要員の有無	無し	
保安要員有りの場合、配置場所	無し	

<走行空間の写真等>



○車両の基礎情報

ベース車両	NAVYA ARMA
システムの類型	特別装置自動車
最高速度	20km/h
定員	11人
立席・着席	立席無し

<車両の外観写真等>



○主な基準緩和項目と代替の安全確保策とその考え方

<p>保安基準11条1項 かじ取り装置</p> <p>保安基準105条1項第3号 保安基準183条1項第3号 運転者席</p>	<p>汎用コントローラを持ってかじ取り装置の代替とする。コントローラ断線時や、コントローラが運転手の手から離れた場合には、車両が自動的に停止する。</p> <p>本車両では、運転者が乗客と対面できるよう運転者席が車両進行方向に対して右後方に設置されているところ、運転者の前に乗客が着席し、視界を遮る恐れがある。そのため、運転席を立席とし、直前直左の視界をカメラで確保するとともに直左後方は後写鏡によって視界を確保する。</p>
---	---

<緩和対象箇所の写真等>



○基準に適合させるために実施した改造事例

従来の車両の仕様としては、前後どちらでも走行できるよう設計されているところ、日本の保安基準に適合させるため、制動灯・後退灯を新規に取り付けた。

<改造箇所の写真>



○ヒヤリ・ハット事例(発生内容、原因、対策等)

<ヒヤリ・ハット状況の写真や図など>